

さくら花

なかよく かしこく たくましく

みんなにわかり易い角館小学校
学ぶ楽しさを味わえる学校

重点：4つのあ

- あいさつ ●あんぜん
- あい読書 ●あとしまつ

R4.10.7 No.14

秋の日は釣瓶落とし

秋分の日から2週間です。あの日から夜長の季節となりました。それにしても、秋の日というのは急激に暮れるということを実感します。類義の言い方に「秋の日は鉈（なた）落とし」というものがあることを、最近知りました。

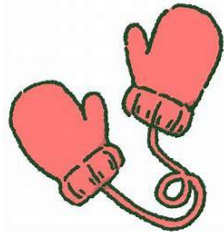
こうして季節が動いていくところを体感していくのですが、朝の冷え込みも急激に進んでいます。そんな昨今、登校時に

気になっているのが子どもたちの手がポケットに入っていることです。熱中症の心配は



少なくなりましたが、ポケットに手を入れて歩いていることの心配が増大しました。日没時には灯りを

もつとか反射するものを着用するとか、それらと同様の危険回避の一つとして、ポケットに手を入れて歩か



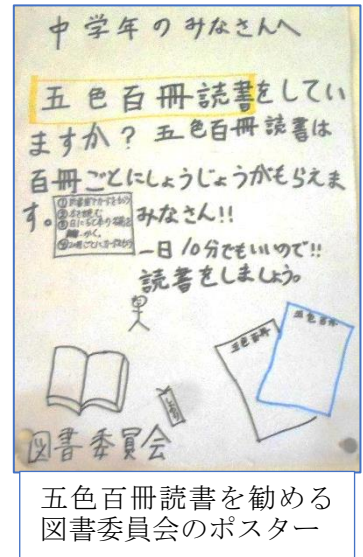
せない指導をご家庭と連携して進めていきたいと考えています。手袋の着用等で対応したいものと思います。ご準備をお願いいたします。

秋の夜長は読書

角館小学校の子どもは「なかよく かしこく たくましく」。具体的な施策として「4つのあ」があります。「あいさつ・あんぜん・あい読書・あとしまつ」です。「かしこく」に直結しているのが「あい読書」です。「愛読書」とすると「愛読している本」という意味になってしまうので、「読書を愛する」ということがわかりやすいように「あい読書」

という書き方になっているようです。

右のポスターにあるように五色百冊読書という取組も角館小学校の伝統として進めてきました。今年の傾向として、2年生がとても多く賞状を貰いに校長室に



来ています。昨年はその賞状を校長室で渡していましたが、今年は校長室で渡すか教室で渡すか選択してもらっています。100冊達成の写真入りの賞状も渡しています。賞状を渡したくて、毎日待っています。秋は読書にぴったりの季節です。

秋季休業に考えてもらいたい

さて、本日の終業式、子どもたちに考えてもらいたくて話したことは次のようなことです。

前期とは、新学年になりその学年にふさわしい力を身に付けるために一人一人が目標に向かって進む期間です。

後期とは、一人一人が前期に身に付けた力をみんなが合わせて使っていく期間。そしてその力を一つ下の学年に引き継いでいく期間です。

だから、前期よりも後期の方が、学年全体としての成長を問われるのだと言いたいのです。

通知表には一人一人の素晴らしいところや身に付けた力がたくさん書かれています。その力を後期にどのように使っていくか、学年の中でどう生かしていくのかを考えてほしいと思います。